



NPO Honokuni
Forestry Association

Forest

フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 113 穂の国森づくりの会

〒440-0888
愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
太陽生命豊橋ビル2F
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
E-mail: honokuni@honokuni.org
https://www.honokuni.org/

最近、FSC (Forest Stewardship Council®) や PEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes) のロゴマークが付いた紙容器、木製品をよく見かけられるようになりました。適切に管理され持続可能な森林経営がなされている森林から伐出された木材が使われていることを証明する印になります。

世界中では、まだまだ違法伐採が横行しています。食のトレーサビリティと同様に、木質資源のトレーサビリティも大切です。私は買い物の時に同じ商品があった場合、値段ではなく、これらのロゴマークが付いた商品を買うように心がけています。懐は少々寒くなりますが…

(もりみの)

地味だけど大切！木育推進事業

本誌Vol.92 (2015年)で紹介しましたように、穂の国森づくりの会では、設立当初から木材の利用拡大 (特に東三河産木材) の啓発活動や小学校での木工工作体験授業、地域のイベントで木工工作のブース出展などを積極的に行ってきました。木材に親しんでもらう中で、子どもたちに木の良さを知ってもらうことを主な目的としていました。

しかし、この取り組みの中でいくつかの課題が明らかになってきました。まず一つ目は、子どもはもちろんですが、ノコギリの引き方や釘の打ち方等の基本ができていない親が多いことでした。なかには、安全なカッターの扱い方まで知らないケースもありました。

2つ目は「樹(き)を伐ることは、なんでもかんでも悪いことだ」と思っている親子が多いことでした。これは、日本の森林問題と世界規模の森林問題を混同して考えているからではないかと思われます。

3つ目は「DIY用の木材や家具などの木製品は、安ければなんでもよい」と考えている大人が多いことでした。「その木材や木製品は海外で違法伐採され加工された木材ではないですか?」と尋ねてみたくなることもしょっちゅうです。

他にも課題はありますが、すべてに共通することは、**木育は子どもだけではなく親子を対象にしなければならない**ということでした。

そこで、2012年からこれまでの活動を**木育推進事業**と名を改め、親子で楽しみながら森林の樹々や木材のことを学ぶことに重点を置きながら取り組んでいます。



▲ 昨年度オートボックス(クライム株式会社)さんと共催で開催した木工教室の様子(東三河ふるさと公園)



▲ 本年度、豊橋木材商工協同組会さん他開催した木育イベントの様子(豊橋こども未来館「ココニコ」)

近々、オートボックス(株式会社クライム)さんと共催で木工教室開催予定です。金槌での釘の打ち方、材料となる木材の種類や性質、産地など様々なことを学ぶことができるイベントです。詳しくは、本誌4ページをご参照ください。お申込みお待ちしております!

穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しします

その22
「静岡県立森林公園」
中西 正

秋の静岡県立森林公園観察会 2010.11.28

静岡県立森林公園は浜松市街地から北の方向、新東名高速道路付近にある。広い面積を持ち、そこにピジターセンターや宿泊施設、森林体験施設、スポーツ施設などがある。「愛知県民の森」と比較すると幅広い人が利用しやすい感じがする。「愛知県森林公園」、ここには行ったことがないが、資料によると大きな面積をゴルフ場が占め、馬場があり、スポーツ施設がありと森の中の娯楽施設といった感じで、静岡の方が庶民的で自然派的な感じた。今回の講師は高柳先生だった。

森林公園があるのは三方原台地の端で、全体的に乾燥しているようでアカマツ林が広く覆っている。そこにアラカシ、ソコゴ、シイ、ヒメユズリハなどの常緑樹が混じっている。また、ネジキ、シャシャンボ、モチツツジ、ヤマツツジ、ミツバツツジなど酸性土壌を好む植物も多い。林床にはネザサ、ヤブコウジ、ウラボシなどが生えている。道沿いにはススキ、メリケンカルガヤ、トダシバなどがまばらに生える。ところどころにテーダマツやモリシマアカシア、モミジバフウなどが植えられている。ヤマモモ、タブノキ、モッコクなども植えられていた。林の中を探すとタイミンタチバナやミミズバイもあり、かなり温暖であることを表している。敷地内には狭いながら湧水湿地が見られる。そこにあるのはヌマガヤ群落で、群落中にはシラタマホシクサやマアザミなど豊橋の湿地と同様な種類が生えている。

森林公園内の施設に「空の散歩道」がある。谷につけられた吊り橋で、長さは150m、高さは48mという。そこからはアカマツの林を上から見渡すことができる。外国、特に熱帯では熱帯多雨林の森の上を吊り橋で歩くことができるキャノピーウォークという施設がある。また宮崎県綾町では、大規模な吊り橋が照葉樹林の上にかけてられている。この森林公園の吊り橋も、それに準じたものと考えることができる。ただ、ここで見えるものは、ほとんど一種類の樹種(アカマツ)で単調だった。多様な群落がある場所でこんな施設がほしいものだ。いろいろな樹種の森で、その高さも森の遥か上だったり、樹冠に接する位置だったり、森の中だったりすると楽しいことだろう。愛知県民の森でそんなのはできないだろうか。

アカマツ林の中にアオモジという植物があった。クロモジと同じ仲間、枝はみどり、材にはいい香りがある。早春に黄色の小さな花をつけるので花材に使われたりする。本来このような利用のために伊豆で栽培されていたものが、同じ静岡県のこの地でも定着して増え始めたということだった。ここでは明るい林であるアカマツ林の低木層に生えている。秋には黄葉する



▲ 吊り橋から望むアカマツ林



▲ アカマツ林の縁に広がるアオモジ

ために、その存在はかなりわかりやすい。本来は九州に分布する植物で、中国から九州を在来線の普通で旅行をしているとき、博多を過ぎた鳥栖に近いところから目にするようになった。その生え方は林の中というより林の縁で、ヌルデやヤマウルシなどと同じ場所と思った。今後、東海地方ではその分布を広げるのだろうか、愛知県にも入ってくるのだろうか。その変化が注目される。



▲ アオモジの黄葉

企業・団体と協働したSDGs活動

穂の国森づくりの会では、社会貢献活動（CSR活動）として森づくりに取り組む企業や団体をサポートする事業を2008年から重点事業として取り組んできました。

この活動は、2015年に「持続可能な社会・地球環境を構築するための世界共通の目標であるSDGsが国連サミットで採択され、より活発になってきました。

さらに豊橋市は、2019年に「豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり」により「SDGs未来都市」に選定されました。そして、企業や団体と協働で取り組む「豊橋市SDGs推進パートナー制度」がスタートし、穂の国森づくりの会もこの制度に申請し、認定団体となりました。

穂の国森づくりの会の活動すべてがSDGsの17のゴールの何れかに該当するので「活動を継続していればそれで良いのでは？」と言われることもありますが、そうは思いません。

新たな企業や団体と協働して東三河地域の水と緑の地域づくりの輪をさらに広げていきたいと考えています。

そこで、2021年から「豊橋市SDGs推進パートナー（企業・団体）」と連携を模索しました。

その結果、昨年10月に豊橋ローターアクトクラブさんが「穂の国石巻の森活動」に、続いて今年の2月に愛知県民の森で開催した「はじめての森づくり体験講座」では、株式会社TKさんに参加いただきました。今後とも継続して、活動に参加いただけることになりました。

さらに、東三河地域の株式会社三菱UFJ銀行の5支店さん（豊橋支店さんが豊橋市SDGs推進パートナー）から寄付をいただき（本誌4ページ参照）、「穂の国石巻の森」での活動にも参加いただく予定です。

今年は「少人数からできる企業・団体の森づくり」を企画しています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。



▲ 豊橋ローターアクトクラブさんの森づくりの様子



▲ (株)TKさんの森づくりの様子

ウッドパーク平尾の生き物 ～トンボを中心に～（その4）

多様な色彩に魅了されるヤンマ科のトンボ②

ヤブヤンマを見かけるようになると、すぐにマルタンヤンマという変わった名前のトンボが飛び始めます。「マルタン」はフランスの昆虫学者「R.Martin」に由来しています。

羽化直後は、黄色と茶色の模様をしていますが、成熟するとオスは黄色い部分と頭部がコバルトブルーに、メスは頭部と胸部の黄色い部分が黄緑色に変色します。

マルタンヤンマは、よく見かける年があれば、まったく見られない年もある不思議なトンボです。

お盆ごろになるとカトリヤンマというトンボが現れ始め、11月ごろまで長期間観察することができます。ウッドパーク平尾で観察できるヤンマの中で、サラサヤンマに次いで個体数が多いです。

名前は「蚊を捕るヤンマ」に由来しています。蚊を捕食するトンボは他にもたくさんいるのですが…。

複眼は大きく、緑がかった水色で宝石のように見えます。胸部は緑色で、腹部の付け付近が細くくびれています。オスは腹部に水色、メスは緑の斑文がみられます。

さて、前号から合計で4種のヤンマ科のトンボを少しマニアックに紹介しました。これらのトンボは、よく農薬や開発により減少していると言われていたのですが、実はそれだけが原因ではありません。他にも大きな原因があります。それは、この連載の最終回でご紹介します。



▲ 羽化直後のマルタンヤンマ♂



▲ 成熟したマルタンヤンマ♀



▲ 成熟したカトリヤンマ♂



▲ 産卵中のカトリヤンマ

イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272



親子でDIY 楽しい木工作 車型BOXを作ろう

共同主催：オートボックス（株式会社クライム）
共 催：東三河ふるさと公園管理事務所
場 所：東三河ふるさと公園（御油側 管理棟内）
（豊川市御油町竹ヶ入 11-2）
時 間：1回目 10:00～12:00 3 家族
2回目 11:30～12:30 3 家族
3回目 13:30～14:30 3 家族
4回目 15:00～16:00 3 家族
参 加 費：500 円（1 家族）
対 象：必ず保護者同伴でご参加ください。
申 込 み：保護者氏名、お子様の氏名（年齢）、
電話番号、希望の時間（回）を穂の国
森づくりの会事務局へ



サンプル写真

- ・サンプル写真と多少形状が違う場合があります。予めご了承ください。
- ・BOXの内寸は長さ265mm 幅125mm 高さ100mm（箱ティッシュが入る大きさです）
- ・材料となる板には、節があるものがあります。予めご了承ください。

定期活動やってます！

「ウッドパーク平尾」

●毎月第3土曜日（変更の場合もあります）

（令和4年5月21日、6月18日、7月16日）

集 合：午前10時にウッドパーク平尾

※初参加の方は、事務局へご連絡ください。
詳しい場所などをお知らせ致します。

終 了：午前11時半頃（その後は自由解散です）

対 象：個人会員（家族でご参加歓迎）、団体企業会員

内 容：草刈り、薪割り、休憩スペースの整備、
自然観察、ピザ焼き体験など

持ち物：長靴、軍手、飲料、タオルなど

その他：雨天中止（小雨でも）

※参加について

当日に当然参加も大歓迎です！ただし、都合により
中止、開催日が変更になる場合もありますので、
できるだけ事前に事務局へご連絡いただければ幸いです。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、延期や中止になる場合があります。予めご了承ください。

寄付をいただきました。 三菱UFJ銀行様 金 500,000円

東三河地域の5支店（豊
橋・蒲郡・豊川・田原・新城）
様の共同でご支援をいた
だきました。

写真：贈呈式の様子
（㊦ 郷 武豊橋支店長様）



一緒にSDGsに 取り組みませんか？



会社・団体としてSDGsに取り組みたい。
でも、何から始めたらいいのかわからない。
穂の国森づくりの会では、多くの企業・団体と
協働でSDGsに取り組んでいます。
詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

私たちと一緒に森へいきませんか？
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<https://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも
会員になることができます。
会費：個人会員1口・3,000 円／団体企業会員1口・12,000 円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org